

むくのきだより 12月号



令和3年11月30日 港区立赤羽幼稚園 園長 宮崎 直人

赤羽幼稚園の環境のよさを生かした様々な活動

園長 宮崎 直人

澄みきった冬晴れの日が続き、朝晩の寒さも身にしみる季節となりました。園庭に、色鮮やかな葉が舞い落ちています。

徐々に園外での活動や様々な人たちと関わる活動ができるようになり、11月にも、様々な活動を行いました。その中のいくつかを振り返ってみたいと思います。

11月2日(火)には、赤羽小学校の2年生が、「おもちゃフェスティバル」に招待してくれました。体育館でいくつかのコーナーに分かれて遊ぶ中で、2年生が優しく教えてくれました。2年生との触れ合いを通して小学校への親しみの気持ちが大きくなったようでした。



11月4日(木)の「親子遠足」では、晴れ渡る青空の下、芝公園で遊んだり、散策したりしました。さくら組は初めての遠足、ゆり組は、久しぶりの遠足でしたが、とても楽しく過ごすことができました。大人も子供も、ゆり組とさくら組の関わりが深まった遠足でした。保護者の皆様には、様々なご協力をいただき、ありがとうございました。



11月9日(火)は、マルセルアクアパーク品川に遠足に行きました。この日は、大雨でしたが、室内のため、安心して見学することができました。子供たちは、クラゲやサメなどの生き物にくぎ付けでした。そして、最も盛り上がったのは、イルカショーです。このような経験が、ゆり組の「水族館ごっこ」につながりました。



ゆり組の「あかばねすいぞくかん」では、いろいろな生き物が登場しました。サメが泳いでいたり、クラゲがいたり、イルカショーも再現されていました。子供たちの発想は、すごいですね！さくら組の子供たちもとても楽しむことができました。



11月16日(火)の誕生会では、お楽しみとしてハンガリー文化センターのコバーチ・エメシエさんをお招きしました。ハンガリーの民族衣装や動物などについて教えてもらったり、ハンガリーの踊りをみんなで踊ったりしました。とても楽しいひとときでした。コバーチ・エメシエさん、ありがとうございました。



11月19日(金)は、今年度初めての「剣道教室」を行い、東京学芸大学の学生で現役選手の阿部さんと渡部さんが、ゆり組の子供たちに剣道を教えてくれました。ぴりっと引き締まった雰囲気の中、正座や礼、竹刀の持ち方など、昨年度教わったことを思い出しながら、意欲的に活動していました。さくら組は12月から行う予定です。



11月22日(月)は、赤羽小学校が休みだったので、全園児で「赤羽小学校探検」を行いました。音楽室、理科室、校長室、図書館、体育館などなど。リュックを背負って、たくさん歩いて、いっぱい遊んで、まるで遠足のような楽しい一日でした。ゆり組は、その1週間前に飯倉保育園の友達を招いて交流をした際にも、小学校探検や屋上でのリレーを楽しみました。就学への期待が少しずつふくらんできています。



12月3日(金)には、プロ・ナチュラリストの佐々木洋先生を招いて、赤羽幼稚園の園庭の魅力を知る園庭散策を親子で行う予定です。

これからも、赤羽幼稚園の環境のよさを生かし、様々な人と関わり、楽しく、充実した活動を行うことができるように工夫していきたいと思ひます。